



菅野大志の

「いどばた会議」

Vol.34

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

今月の大ニュース！

『新しい地方創生交付金は、県内・東北1位！
全国4位！対話のおかげです！』



ご登録をお願いします！

▲町公式LINE

1. 今年のにしかわ夏祭り（花火大会）、7/26（土）開催！ 4,500～5,000発

昨年、70周年事業として開催した「にしかわ夏祭り」は今年もあるの？」という問合せもいただいております。

4月、にしかわ夏祭り実行委員会が開催され、つながるくんアンケートで回答の6割以上が同じ時期・場所での開催を望まれたことから、7月26日（土）の開催となりました。実行委員会では、ご協賛席を「あいべ」体育館付近とする等、昨年の反省点を改善していこうとなりました。お子様、お孫様、友人等お知り合いの皆様を誘って観覧下さい。団の協力は欠かせません。暑中、本当にありがとうございます！



▲昨年の花火

2. 職員のチャレンジにより、全国第4位の新型地方創生交付金を獲得！

おかげさまで、予算が2倍になった新型地方創生交付金の採択が、県内・東北で1位、全国市町村でも4番目。行政視察では、以下の質問を聞かれます。

【質問】なぜ、短い申請期間で申請できるのか？

【答え】年間70回の対話を開催しているので、解決すべき課題の解像度が高く、秋から申請準備をしている。

【質問】申請書をかける職員は何人くらい育成しているか。

【答え】3年間で、4人→9人→14人と増加。副町長が育成。

挑戦する職員が増え、交付金を獲得。職員の頑張りにより町民の皆様の生活向上・雇用確保や財政負担が軽減されます。サポートいただいた職員もありがとうございました！

■新型地方創生交付金、総務省、農林水産省関係交付金申請者（敬称略）

内藤翔吾、黒田宜雄、松田浩史、金子成幸（総務課）、和田美奈子（つなぐ課）、柴田知弘、阿部大介、木島優太（観光課）、渋谷草吾（かせぐ課）、飯野晃、服部敦嗣（病院事務局）、渡邊永悠、鈴木雄太（みどり共創課）、石川朋弘、古澤裕和（健康福祉課）

3. 数年かかる深い地域課題の解決方法を勉強中！

■入間 ■ 入間公民館の屋根の改修・駐車場の確保

旧入間小学校敷地を民間企業に売却したことを受けて、避難所や、いきいきサロン等交流施設として重要性が益々高まっています。現状の公民館改修の支援ルールは、工事費の1/2補助（上限150万円）です。



▲沼山・北ノ沢の現場

町は人口の少ない区への財政支援を強化したいのですが、他の区との公平性の確保などバランスが難しい問題です。しかし、全区に同じ公民館支援ルールを適用するのは、そろそろ限界と実感しています。

■沼山 ■ 北ノ沢沿いの北立目堰の用水路の維持

近年の大雨被害により、町が管理する北ノ沢沿いの沼山堰が崩れ、今後の農業用水の確保等に大きな影響を及ぼしかねない状況です。代替用水路として、長沼から用水を確保する案もありますが、そのためには、カヌー練習場でもある長沼の水が減らないような工夫が必要です。数年向き合うべき課題であり、様々な対話、調査の必要性を認識しました。

■吉川 ■ 歴史文化資料館・かわどい亭の設備更新

皆様の努力により、入場者数が年々伸びています。しかし、旧川土居小学校を利用していることから、歴史文化資料の保存場所・管理方法に工夫などが必要であり、築35年を迎えて、トイレ、雨漏り等老朽化。本館は観光施設として条例改正し、財源を確保し、改修工事を行っています。

■陸合 ■ 陸合公園・大井匠匠館トイレの洋式化

春以降、ゲートボールが楽しめる陸合公園。しかし、トイレが洋式化されておりません。この度、三山信仰をイメージした朱色のポール芸術が設置されたことで観光地として国から交付金を得ました。陸合公園、大井匠匠館のトイレを洋式化していきます。

■大井沢 ■ 小水力発電施設（中上）から中村へ流れる用水路
用水路に蓋がかかっていることで、雪や倒木等により越水するための対応を考えました。他の区との平仄や農水省の交付金を得られないか対話しました。

■総合建設組合との対話 ■ 「リフォーム工事しよう」と思われるわかりやすい補助制度へ！

議会からもわかりにくいとご指摘をいただいた町のリフォーム補助金。だれがみてもらえるようにするとともに、補助を拡大して工事してみようと思われる制度を考えていきます。



▲資料館では6月まで町指定文化財企画展



▲陸合公園の現地確認



▲大井沢で崔さんより説明

4. 水沢川小水力発電所建設の起工式が開催されました

4月、(株)パワー・イー・ネクス（遠藤直幸社長（西川町出身））の水沢川の小水力発電所建設工事起工式が開催され、岩根沢・水沢区長とともにご招待いただきました。この完成により岩根沢の八兵衛新田の水路管理も楽になり、町としても固定資産税が得られます。若築建設さんが中心となって3年後の完成を目指すようです！